

2024年8月1日
岡崎信用金庫は
創業100周年を迎えます。



おかしん



VOL.836



メナード美術館(小牧市)

ふれあい探訪 メナード美術館

Okashin News 小学校校外学習を受け入れ

家康公シンポジウム2024・家康公検定 過去問に挑戦!

おでかけしよう！

ふれあい
探訪



メナード美術館

MENARD ART MUSEUM

「ふれあい探訪」では、愛知県内の魅力あふれる文化施設や景勝地をご紹介します。

今月は、小牧市にあるメナード美術館を訪ねました。

1600点を超える収蔵作品

メナード美術館は、日本メナード化粧品株式会社
の創業者、野々川大介氏と妻の美寿子氏
が中心となり収集した美術作品を広く一般に
公開するため、1987年10月、夫妻の出身地
である小牧市に開館しました。

コレクションは、マネをはじめとする西洋
絵画や、横山大観、前田青邨などの日本
画、梅原龍三郎、岸田劉生などの日本洋画、
彫刻、工芸、書など。その数は1600点
を超え、落ち着いた雰囲気の中で、じっくり





▲展示室



▲中庭



▲アネックス・ホール



▲展示室1

りと美術作品を鑑賞することができます。
「心に豊かさや安らぎをもたらす文化活動の提案により、ひとりでも多くの方に美に触れる喜びを感じていただきたい」との開館時の思いを引き継ぎ、さらなる充実を目指しています。

癒しの空間での芸術鑑賞

本館は、外壁に御影石を積み上げた重厚な造りとなっています。扉を開いた先にあるひとつめの展示室は、高い天井と大理石を用いた内壁に、自然光が差し込む心地よい空間。中庭を囲むように配置された5つの展示室で、日常を離れた心豊かなひとときを過ごすことができます。

展示作品は、毎回企画テーマに合わせて選んだコレクション約60〜70点が紹介されます。今年は「歳時記」をテーマにした全3回の展覧会を含む4つの展覧会が開催されます。最後の展示室では「西洋絵画名作選」として、セザンヌ、ゴッホ、アンソールなどのコレクションが並びます。展覧会ごとに作品が入れ替わるため、訪れる度に別の作品に出会うことができます。※詳しくは、3・4ページをご覧ください。

敷地内には別館アネックスがあります。休憩場所として利用できるほか、講演やワークショップなど、美術体験を満喫することのできる様々なイベントを随時実施しています。

開催中の展覧会

所蔵企画展

歳時記 花ひらく春

2024年 3月31日(日)まで

現在開催中の第1回「歳時記 花ひらく春」では、新春から夏が近づく春の終わりまでを、「新春」、「春めく」、「花吹雪」の3つの季語をテーマに、日本画を中心とした作品約50点で紹介しています。冬を越えた植物の芽吹き、さえずる小鳥、咲き誇る花々など、メナード美術館の春をどうぞご覧ください。

新春

年の初めを意味する「新春」は、日本で明治時代初頭まで用いられていた旧暦が、正月を春のはじめとしていたことに由来します。近藤悠三、鈴木蔵など、新春や春を感じさせる工芸作品からはじまります。

春めく

「春めく」とは、春の季語の一つで「(まだ冬だと思っているうちに)春らしくなること」。ここでは、安田靉彦、前田青邨、舟越保武など画家と彫刻家が表現した春をご紹介します。

花吹雪

古来、室内や床の間などに飾られ、季節を表してきた掛軸と屏風。春を主題とする作品を飾れば、室内には春の世界が広がります。ここでは、春の季語のひとつで、雪がふぶいているかのように花びらが舞い散る様を示す「花吹雪」がテーマです。葛飾応為《夜桜美人図》をはじめ、掛軸、屏風、工芸に見る春を紹介しています。



瀧下和之《七福神図 宝船。》2021

初公開コレクション

葛飾応為《夜桜美人図》
江戸時代後期

作品はすべてメナード美術館蔵

特集展示「小さな作品たち」

4号サイズ以下の絵画や数センチほどの彫刻、棗など、小さく愛らしい作品約40点を集めて展示

ピエール・ボナール
《静物＝りんごと水差し》1931頃

次回の展覧会

所蔵企画展

歳時記 風薫る夏

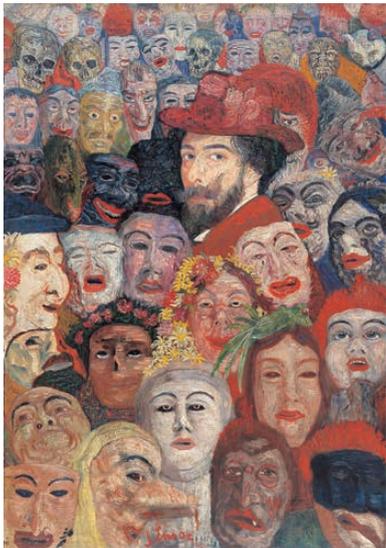
2024年
4月13日(土)－7月7日(日)

「風薫る」とは夏の季語の一つで、新緑の季節に若葉の中を爽やかな初夏の風が吹き渡るさまを指します。第2回「歳時記 風薫る夏」では、瑞々しい新緑、暑さの中咲き誇る花々など、さまざまな夏の姿を日本画、日本洋画、工芸作品約60点からご覧いただけます。徐々に暑さが増し移ろいゆく季節の情景をどうぞご堪能ください。



田淵俊夫《明日香栢森》1976

『西洋絵画名作選』



ジェームズ・アンソール
《仮面の中の自画像》
1899



ポール・セザンヌ
《麦藁帽子をかぶった子供》
1896~1902頃



クロード・モネ
《チャリング・クロス橋》1899



フィンセント・ファン・ゴッホ
《一日の終り(ミレーによる)》1889~90

メナード美術館の西洋絵画コレクションから選んだ約15点を
展覧会ごとに入れ替えながら紹介しています。

※展覧会によっては「西洋絵画名作選」コーナーを設けない場合があります。

2024年 そのほかの
展覧会スケジュール

7月13日(土) — 9月23日(月・休) なつやすみ所蔵企画展 額縁のむこうのFRANCE

10月5日(土) — 12月22日(日) 所蔵企画展 歳時記 秋の彩りから冬色へ

※内容に変更の生じることがあります。最新の情報はホームページでご確認ください。

Information



メナード美術館

MENARD ART MUSEUM



最新の情報は
ホームページで。

〒485-0041 愛知県小牧市小牧五丁目250番地

TEL: 0568-75-5787

開館時間: 10時~17時(入館は16時30分まで)

休館日: 月曜日(祝休日の場合直後の平日)、展示替等による臨時休館、年末年始

※休館日に変更が生じる場合は随時ホームページに掲載されます。

入館料: 一般 1,000円、高大生 600円、小中生 300円

お車で越しの場合

- ・東名・名神「小牧I.C.」からは国道41号線を名古屋方面へ→信号3つ目
- ・名古屋方面からは名古屋高速「小牧南出口」を出て国道41号線へ→信号8つ目→弥生町の交差点を東へ1km

公共交通機関で越しの場合(名鉄「岩倉」駅より)

- ・名鉄バス小牧駅行(小牧市民病院 経由)「メナード美術館前」下車すぐ
- ・名鉄バス小牧駅行(小牧市役所前 経由)「小牧市民病院北」下車徒歩3分



小牧駅西口からの
ルートはこちら

小学校校外学習を受け入れ

2024年2月7日(水)、当金庫岡崎医療センター前支店で岡崎市立岡崎小学校の3年生児童約120名を招き、災害時用設備の見学会を実施しました。

当店は、災害時のコミュニティスペースとしての活用を想定し、災害時用設備を備えています。見学会では、井戸、炊き出し用のかまどとして使えるベンチ、マンホールトイレ、ATMと相談窓口の機能を備えた移動店舗車を紹介。生徒のみなさんから、「勉強になった」「困った時に役立つ設備が近くにあって良かった」などの感想をいただきました。



かまどベンチ



災害時用井戸



移動店舗車

特殊詐欺にご用心!!

岡崎信用金庫をかたった詐欺が発生しています。十分にご注意いただき、被害を未然に防ぎましょう。

Check
1

訪問者にキャッシュカードを渡さないで!

当金庫の職員がキャッシュカードを預かったり、暗証番号をお聞きしたりすることはありません。当金庫の職員を名乗る者が訪ねて来ても、キャッシュカードを封筒に入れて渡したり、暗証番号を伝えたりしないでください。不審な電話等があれば、すぐに当金庫のお取引店にご連絡ください。



Check
2

不審なメールは削除して! 当金庫を装った偽メールが確認されています。

確認されている不審メールの件名

【重要 注意喚起】サービス仕様の変更

当金庫は、お客さまの口座番号、暗証番号、インターネットバンキングのID、ログインパスワード(ワンタイムパスワード)、マイナンバー、クレジットカード番号等を入力いただくようなメールを発信していません。不審なメールが届いたら、回答せず、速やかにメールを削除してください。





家康公シンポジウム2024

『家康公がつくった江戸の仕組み』開催

2024年2月3日(土)、岡崎市せきれいホール(岡崎市朝日町)にて標記のシンポジウムが開催されました。

第1部では、国際日本文化研究センター名誉教授の笠谷和比古氏が「家康公の統治理念」をテーマに、東京大学史料編纂所教授の松方冬子氏が「外国人宛の家康朱印状をめぐって」をテーマに講演しました。第2部では、公益財団法人徳川記念財団理事長の徳川家広氏と東京大学学術博士の上垣外憲一氏が基調講演の両講師とともにパネリストに加わり、岡崎ふるさと歴史教室主宰の市橋章男氏をコーディネーターにパネルディスカッションが行われました。

家康公はいかにして泰平の江戸265年の仕組みを築いたのか。約400名の聴講者は、内政（法治主義）と外交（善隣友好）の両面から家康公の優れた統治手腕について学ぶことができました。

【第1部 基調講演】



国際日本文化研究センター
名誉教授
笠谷和比古氏



東京大学
史料編纂所教授
松方冬子氏

【第2部 パネルディスカッション】



パネルディスカッション

主催：一般社団法人徳川家康公に学ぶ会

協賛：公益財団法人徳川記念財団、岡崎市徳川家康公顕彰推進協議会、岡崎商工会議所

家康公検定 過去問に挑戦!30



今月号で紹介された「メナード美術館」のある小牧市には、天正12年(1584)、家康公が羽柴秀吉(2年後から豊臣秀吉)との戦いの際に本陣を置いた小牧山があります。今回は、この「小牧・長久手の戦い」に関する問題です。

問題

小牧・長久手の合戦で華々しいデビューを飾った井伊直政の部隊は、ある色で統一した鎧兜を^{よろいかぶと}着用していました。その軍装はその色から何備えと呼ばれたのでしょうか？

- (1) 青備え
- (2) 赤備え
- (3) 黒備え
- (4) 白備え

解説

井伊直政が率いた部隊は、「井伊の赤備」と呼ばれ、具足も旗指物もすべて赤で統一した精鋭軍でした。これらの具足は、もともと赤(朱)色の具足を揃えていた武田氏の重臣・山県昌景の遺臣たちを多く招き抱えたことから発案されたと伝えられています。「小牧・長久手の戦い」をはじめ、数々の戦で手柄をおさめ、「赤備え」部隊は戦場で恐れられました。以来、赤色は井伊家のトレードマークとなり、大名となった直政の子孫は代々赤の具足を所用。幕末に「安政の大獄」を断行した大老・井伊直弼も「赤鬼」と呼ばれました。



小牧山歴史館(小牧山城模擬天守)
小牧山史跡公園(小牧市)

井伊直政像
(JR彦根駅前 滋賀県彦根市)

正解……(2)

オンラインにて動画配信

「おかしん先端科学奨学金制度」 奨学生によるオンライン成果発表会

ノーベル賞受賞者を輩出し世界トップレベルの研究を展開する「自然科学研究機構」は次世代の研究者育成にも力を入れており、多くの総合研究大学院大学生が研究活動を行っています。そんな日頃の研究成果を発表すべく、成果発表会を開催いたします。本年もオンラインにて動画配信いたしますのでお見逃しのないようご覧ください。

おかしん
先端科学
奨学金制度

岡崎信用金庫は、大学共同利用機関法人自然科学研究機構（基礎生物学研究所、生理学研究所、分子科学研究所）と地域連携協定を結び、岡崎市を中心とした地域における教育支援等の活動において、地域社会の発展と人材の育成に寄与することを目的に、平成24年8月「おかしん先端科学奨学金制度」を創設し、平成24年度より奨学金の支給を始めました。

奨学生・発表テーマ紹介

哺乳類の着床と子宮内環境の変化

櫻井 隼 氏（基礎生物学研究所）

翻訳因子の種間多様性による
神経翻訳制御：長期記憶への洞察

吉田 将 氏（基礎生物学研究所）

多能性幹細胞の正確な
DNA複製の秘密に迫る

松本 陽乃 氏（基礎生物学研究所）

細胞の部品を適所に配置する
仕組みに迫る

江川 孝彦 氏（生理学研究所）

結晶構造をもとにした
触媒機能の創出

加藤 雅之 氏（分子科学研究所）

動画配信予定日

2024年3月19日(火)～

お問い合わせ先

岡崎信用金庫 地域振興部

TEL：0564-25-7213

受付時間／9:00～17:00

（土・日・祝日・12/31・1/3を除く）

視聴方法

下記URLより

おかしんホームページへ。

<https://www.okashin.co.jp/shougakukin2024.pdf>

